



| |
|------|
| 学校長 |
| 印鑑省略 |

2019年度 エプソン情報科学専門学校 実行計画

| 学校評価 項目 | | 【学校創立の原点】 設立趣意書より抜粋 エプソン情報科学専門学校が全般的な教育により、高度情報化社会をリードする中堅技術者の育成に傾注できるように努力していく覚悟である。 | | 【教育理念とは】 三心：通いあう心、信じあう心、ひたむきな心 三共：共鳴、共感、共働（協働）の感性 三学：自学、究学、徹学の態度 | | 【長期ビジョン】 社会人基礎力と専門性を有し、社会になくてはならない人材を育成し続ける | |
|-----------------|-----------------------|---|-----|--|-----|--|--|
| ①学校の教育理念 ・目標 | | 設置趣意書より抜粋 また、単に、技術的に優れた人材の育成だけでなく、教養科目の時間をできるだけ多くとり、心と技術の調和のとれた、全人的教育を目標とする。 | | 【中期基本方針（2018～2020）】 1. セイコーフーエプソンと連携して、最新の実務知識、技術、技能を身につけられる実践的な教育を目指す。 2. 生き残りをかけた再編を、確かな実績によって足場固めとし、経営の自立、好転を目指す。 | | 【中期基本方針（2018～2020）】 1. セイコーフーエプソンと連携して、最新の実務知識、技術、技能を身につけられる実践的な教育を目指す。 2. 生き残りをかけた再編を、確かな実績によって足場固めとし、経営の自立、好転を目指す。 | |
| 分担 | 学校評価・項目 | 推進項目 | No. | 具体的な推進計画内容 | No. | 到達目標（期待される成果） | |
| 共通 | ④学修成果 | 1 退学者の削減 | 1 | 各部門で実施 | | 目標：昨年実績以下 チャレンジ目標：退学者ゼロ | |
| | ⑧財務 | 2 経費削減・ムダの排除 | 1 | 各部門での徹底した合理化・効率化 | | 予算目標の達成 | |
| | ②学校運営 | 3 「職業実践専門課程」の定着化 | 1 | 各部門で実施 | | 文科省（長野県代行）によるフォローアップ審査の合格 | |
| | ②学校運営 | 4 学校評価の向上 | 1 | 各部門で実施 | | 前年度評価点以上を目指す | |
| | ②学校運営⑥教育環境 ⑨法令等の遵守 | 5 違法対応・安全衛生管理 環境活動の強化 | 1 | 各部門で実施 | | 問題を発生させない | |
| | ③教育活動 | 1 「5年後10年後に会社になくてはならない人材」を目指した育成 | 1 | 基礎学力を身に付けさせる ・学生のレベル差に対応できる理解度向上施策に取り組む ・自主学習を習慣化し定着させる | | 追試験件数前年度以下、A評定率前年度以上 | |
| 教務部 | ③教育活動 | 2 教える力の向上（どうやって身に付けさせるか） | 1 | 自分の専門領域を広げる、深堀りする | | グループワークを充実し目標達成に役立つ計画力と協調性を身に付けさせる | |
| | ③教育活動 | 2 教える力を磨く・鍛える | 2 | | | 独自学習、通信教育、セミナー参加、資格取得等に1つ以上取り組む 非常勤講師および自身の授業評価（授業評価アンケートや面談）による実践状況把握と改善 | |
| | （学務） | ⑤学生支援 | 1 | 学科、学年を超えて交流し、共に協力し合う人間性の教育と達成感の共有 | 1 | スポーツ祭、三心祭の準備から実施に至るまで全学生が満足し、達成感を得られる | |
| | ④学修成果 | 2 学生の資格合格率の向上 | 1 | ルール、マナーの重要性を授業、集会を通じて教えて実践させる | 2 | 校則、寮則などの重大違反なし 授業以外のイベントにおける遅刻・違反欠席者を減らす | |
| 就職指導部 | ④学修成果 ⑤学生支援 | 1 就職内定率の確保とエプソングループをはじめとした専門性を生かせる企業・個人の能力を生かせる企業への就職支援 | 1 | 1. 校内ガイダンスの招待企業開拓をベースとして、校内での会社説明会の実施を拡大。（新規招致企業の開拓・企業との信頼関係強化） | | 前年度以上の合格率を達成する | |
| | | | 2 | 2. セイコーフーエプソン人事部との連携によりエプソンファンを増やす。 より早い段階から会社説明会と筆記試験を実施し学生の志望度を高める。 | | 10P以上の特別表彰を前年度以上出す 特進クラスは全員が卒業までに10P以上取得させる | |
| | | | 3 | 3. 「自己分析」「職種理解」を基礎に、書類作成や面接力を向上させる。 就活力をアップさせるための授業、イベントの実施。 企業側の考え方を理解させ、就活に対し自信を持たせる。 | | 就職内定率95%以上の確保する。 卒業生ヒアリングの実施。 (就職活動のためのアドバイス、実態業務と現カリキュラムの比較) | |
| 入試センター | ⑦学生の受け入れ状況 | 1 募集者数の拡大 | 1 | 「エプソン特進クラス」「高い就職内定率」「全学科の職業実践専門課程を認定」を周知 | | 募集者数の向上 | |
| | | 2 ガイダンス参加の拡大 | 2 | ガイダンス参加者数の拡大 | | イベント参加者数の向上およびガイダンス参加者数の向上 | |
| 事務局 | ⑧財務 ⑨法令等の遵守 | 1 経費削減・業務の効率化の強化 | 1 | 業務の効率化と経費削減 | | 昨年度以上 | |
| | | 2 個人情報保護体制の強化 | 2 | 個人情報管理状況を明確にして、その体制を強化していく | | 仕組みをつくる | |